

平成23年度
私立学校実務者研修会
学校危機管理研修会（西日本）
実施案内

主催 財団法人日本私学教育研究所
 後援 日本私立中学高等学校連合会
 " 日本私立小学校連合会
 " 兵庫県私立中学高等学校連合会

— 研修のねらい —
子どものために手をつなぐ
 — 学校へのイチャモン（無理難題要求）のウラにあるもの —

はじめに

学校の安全と危機管理は、私立学校の管理運営上において重要な問題であり、最近特に関心が高まっています。学校の危機管理には、災害に対する危機管理、教育学習活動に関する危機管理、学校経営に関する危機管理などがあり、日常の教育学習活動のすべてにおいて関わりを持ちます。私立学校の全教職員は、危機管理に関する意識を持ち、業務に従事する事が求められています。

従来から、学校現場においては学校や教職員に対する苦情等がみられましたが、近年、開かれた学校づくりや学力の向上等の教育諸課題への取組みなど学校を取り巻く環境が大きく変化している中であって、保護者や地域住民等からの苦情等は年々多様化してきています。苦情等は貴重な情報源であるとともに、学校や教職員に対する大きな期待の表れとも言うことができます。しかし、様々な苦情等に適切に対応していくためには、教職員個人の力だけでは対応できない状況も想定され、私たち教職員は個人だけではなく、組織として対応していく必要があります。

今回は、保護者や地域住民からの苦情等に対して、それぞれの教職員がその立場に応じて適切に対応することができるように、この分野の専門家である小野田正利氏による研修を企画いたしました。

会 期 平成23年6月18日（土）
 会 場 兵庫県私学会館 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-3-13
 参加対象者 私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校の教職員
 募集人員 80名（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の教職員）
 ※締切日前でも定員になり次第締め切らせていただきます。
 講義・実習 講 師：小野田 正 利（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

基本日程

6月18日 （土）	11:30 12:30 13:00				16:30 17:00	
	受付	開 会 式	講義・実習 子どものために手をつなぐ（小野田 正利）			閉 会 式

※東日本研修会も、ほぼ同じ内容です。日程に応じて、西日本・東日本の都合のよい方を受講できます。
 ※日程等につきましては、都合により一部を変更することがありますので、その節はご了承下さい。

— 小野田正利氏 プロフィール —

1955年、愛知県生まれ。56歳。顔は、車だん吉と、カンニングの竹山を足して2で割ったようだと、よく言われます。講演風景は、まさにライブで、綾小路きみまろに似ている、しゃべりは金八先生のようにと評されることが多くなりました。

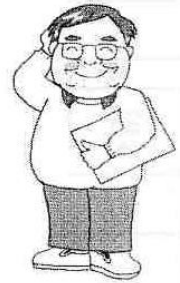
現在、大阪大学大学院教授・人間科学研究科（学部名は人間科学部）

名古屋大学法学部を卒業し、大学院は教育学へ。1984年から長崎大学教育学部で、13年間教えたが、金八先生のように言われた。当時の教え子たちは、九州各地の小学校や中学校の教師になっている。

15年前に、思いもかけず阪大から「ちょっと変わっているようだからウチへこい」と言われた。「これで551の豚まんが毎日食えるな」、という思いと「探偵ナイトスクープ」がちゃんとリアルタイムで放映されていることの魅力から阪大へ。阪大助教授を経て2002年から、教育制度学研究室の教授。教育に関わる制度や環境、行政や政策そして法律などを専門領域としている。阪大では GTOと呼ばれて(?) います。えっ！ 反町に似ているかって？ いいえ、GTOというのは、Great Teacher ONIZUKA（鬼塚）ではなく、Great Teacher ONODA（小野田）だからです。

比較のためにフランスの学校と教育の研究をちょっとだけやりつつ、日本の学校と教職員の“等身大の姿”を明らかにすることを自分のライフワークとしている。『片小ナビ ～保護者のための片山小学校ガイドブック』づくり、学校賛歌ブックレットシリーズの発行、イチャモンの研究、保護者のうわさ話の研究など、阪大の教育制度学研究室は、東大とも京大の研究室とは相当に違う独自の「どろをさらい、地をほう路線」を追求している。

余談ですが、2004年9月10日（金）放送の探偵ナイトスクープに、ついに出演しました。「おばあちゃんは魔女?!」というタイトルで、近所の子どもが、うちのかみさんが魔女の学校に通っていると信じ込み、魔女の学校に入れてくれと言い出しました。そこで困ったうちの妻が依頼者になりましたが、最後はクレーン車につりさげられて魔女のかっこうをして空をとばされていました。私が出そうと思って温めている次の依頼は「豚足は、前足がウマイか後ろ足がウマイか、どっちやねん?」です。



◆参加申込方法

①. 参加申込書を、日本私学教育研究所へ郵送または、FAXでお送りください。

【送付先・問い合わせ先】 財団法人日本私学教育研究所 実務者研修係

高山博通 E-mail takayama@shigaku.or.jp

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

- ・参加申込書は、一人1枚必要事項をご記入ください。複数のご参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書の記載事項については、本研修以外の目的で利用することはありません。
- ・締切日 平成23年6月8日（水）※締切日前でも定員になり次第締め切らせていただきます。

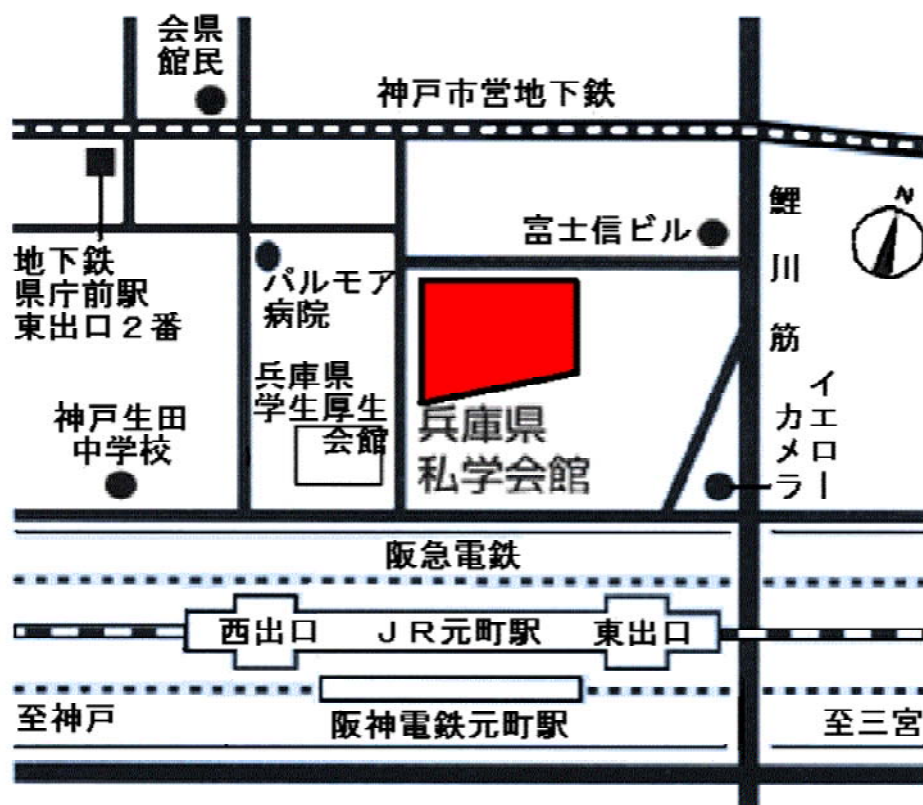
②. 参加確認書および指定払込票をご送付いたしますので、 参加費を日本私学教育研究所宛てに、送金（振り込み）してください。

- ・参加費 6,000円 [参加会費]（1人当たり）
- ・指定払込票の「振替払込金受領証」をもって領収証に代えさせていただきます。
- ・領収証が必要な場合には、別途発行いたしますので、上記「実務者研修係」までご連絡ください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は、全額返金できないことがあります。
また、返金の清算は研修会終了後となりますので、あらかじめご承知おきください。

◆参加に際しての注意

1. 参加確認証 参加確認証は参加者本人が持参して、研修会当日受付にご提示ください。万一、お手元に届かない場合は、標記「実務者研修係」に連絡のうえ、当日その旨を受付にお申し出ください。
2. 来場方法 公共交通機関をご利用ください。

兵庫県私学会館案内図



J Rまたは阪神「元町」駅から徒歩2分

「新大阪」駅からJ R山陽本線快速で「元町」駅まで42分

「新神戸」駅から地下鉄「三宮」駅乗り換え、J Rまたは阪神「元町」まで22分

財団法人 日本私学教育研究所

【申込締切日：6月8日（水）】

送付先FAX番号 03-3222-1683

平成23年度 私立学校実務者研修 学校危機管理研修会(西日本)
参加申込書

[132-]

都道府県名		学校名	
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
ふりがな 参加者氏名		(男 女) (年齢 歳)	緊急連絡先(自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名	担当教科	校務分掌(委員会)	
メールアドレス: 当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 23 年 月 日	
上記の通り申し込みます。			
学校長氏名		印	
【通信欄】			

● 参加費の送金について

- ・この申込書をお送りいただいた後、参加確認証に同封して指定払込票を送付いたしますので、指定払込票にて送金をお願いいたします。
- ・指定払込票の郵便振替払込金受領証をもって領収書にかえさせていただきます。

※太線枠内に必要事項を記入、○印をしてください。記入は一人につき一枚の申込書でお願いします。複数お申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。FAX 又は郵送でお申し込みください。